

フードドライブ活動

代表者 日笠綾音（経済学部 経済学科 2年）

1. 目的と概要

この事業は、フードドライブ活動への参加をきっかけとして、地域住民にSDGsへ関心を持っていただくことを目的としている活動である。フードドライブ活動とは、家庭で集まった食料品を集約し、これを寄付する活動のことである。この活動を通じて、地域住民と交流を深めながら地域活性化につなげたいと考えている。また、高松市社会福祉協議会に食料品を寄付することで、支援が必要な方々に少しでも貢献したいと考えて実施している事業である。

2. 実施期間（実施日）

令和4年6月1日から 令和5年2月28日まで

3. 成果の内容及びその分析・評価等

この事業では、国分寺北部コミュニティセンター、仏生山コミュニティセンター、大町コミュニティセンター、高松ライオン通商店街 Smile's、香川県庁、高松市役所、マルナカ栗林南店などの様々な場所で月に1度のフードドライブ活動を実施した。

まず、国分寺北部コミュニティセンターでは277kg、仏生山コミュニティセンターでは249kg、大町コミュニティセンターでは146kg、高松ライオン通商店街 Smile's では322kgを地域住民にご持参いただき、高松市社会福祉協議会へ寄付することができた。また、10月24日から28日の5日間、高松市役所で実施し、合計118kgを寄付することができた。10月30日には、マルナカ栗林南店と高松市役所と協力し、フードドライブ活動を行い、1日で139kgを寄付した。さらに、1月12日から18日の5日間に香川県庁で実施した結果、600kgの寄付を行った。県庁でのフードドライブ活動では、集まった食品をフードバンク香川に寄贈し、贈呈式に参加した。

以上の活動により、今年度の開催で合計1885kgの食料品を寄付することができた（3月18日大町コミュニティセンターでの開催は除く）。また、フードドライブ活動だけでなく、エコレシピの配布や食品ロス問題のクイズラリーの実施、香川県食品ロス削減キャラクター「たるる」を用いた宣伝を行うことで、香川県民の皆さんに食品ロス

の現状を知ってもらうきっかけになったと考えている。



高松ライオン通商店街での開催の様子



エコレシピや感謝カード



小学校への訪問の様子



小学校での開催の様子



コミュニティセンターでの開催の様子



高松市役所での開催の様子



香川県庁での開催の様子

4. この事業が本学や地域社会等に与えた影響

この事業を実施したことで、私たちの活動から地域住民がSDGsや環境問題を知り、身近に感じるきっかけとなった。また、各回のフードドライブ活動では、事前に近隣の小学校にご協力いただき、香川県食品ロス削減キャラクター「たるる」を用いた宣伝を行うことで、小学生を通じてご家庭で食品ロスを考える機会を創出することができた。

これらのフードドライブを開催するにあたって、NHK高松放送局「ゆう6かがわ」や岡山放送「サン讚かがわPLUS」、西日本放送「everyフライデー」などのテレビ番組や、四国新聞やビジネス香川など多くの媒体に取り上げていただいた。このようなことから、身近な場所で食品ロス削減のためにフードドライブ活動の実施を知ってもらうことができ、毎月行っているフードドライブへ足を運んでいただくことにつながった。また、香川大学生の環境への取り組みを地域住民に知っていただくことができた。

5. 自分たちの学生生活に与えた影響や効果等

この事業では、食品ロス問題をはじめとする環境問題について、主催である私たち自身の意識向上につながった。具体的には、買い物前の冷蔵庫の確認や買い物時の「てまえどり」、半切り野菜やバラ凍結の食材の購入など身近な対策をメンバー各自が実施し

ている。その結果として、今年度の「第3回かがわ食品ロス削減大賞 個人の部」にてメンバー2名が大賞と優秀賞を受賞した。昨年度の「第2回かがわ食品ロス削減大賞 団体の部」での大賞に引き続き、2年連続の受賞となった。

6. 反省点・今後の展望（計画）・感想等

この事業での反省点は2点ある。1点目は、フードドライブに来てくださった方からの質問に答えられなかったことである。この点に対しては、現在メンバーのなかでシフト制としているため、どのメンバーでもお答えできるよう質問された内容を共有するとともに、環境問題に関する知識の勉強を毎回のミーティングで実施していくことで改善していきたい。2点目はマスクをしていることもあり表情がわかりづらく、初対面の方とコミュニケーションを積極的にとることができなかつたメンバーがいることである。この点に対しては、新型コロナウイルス感染症対策のうえで、挨拶や声かけをさらに積極的に実施していきたい。

今後の計画としては、来年度も月に1度、フードドライブの実施を計画している。具体的な開催場所は、今年度の開催場所のみならず、新たな場所での実施も検討している。さらに、香川県庁や高松市役所でのフードドライブウィークも引き続き実施するために準備を進めていきたい。

私たちの活動をきっかけに、食品ロス削減への意識を持ってくださる地域の方々にさらに増やすことができたように思う。私たちが主催するフードドライブの開催は始まって約2年のため、これからも継続していくことで、一人でも多くの方にこの問題を自分事として捉え、自分自身の行動へ反映していただけるよう、取り組んでいきたい。

7. 実施メンバー

代表者	日笠 綾音（経済学部2年）	
構成員	松下 千華（経済学部3年）	
	寺内 柚太（法学部 3年）	
	西馬 あい（経済学部2年）	江口 侑輝（経済学部1年）
	美馬 妃華（経済学部2年）	榎本 祐大（経済学部1年）
	山本 莉子（経済学部2年）	大本 瑞己（経済学部1年）
	中山 由理（教育学部2年）	白石 歩美（経済学部1年）
	満 南菜子（教育学部2年）	新木 美優（経済学部1年）
	植村 実央（経済学部1年）	傳谷 未来（経済学部1年）
	土井 萌未（経済学部1年）	松尾妃洋音（経済学部1年）
	池田 就（法学部 1年）	岡田 柊香（農学部 1年）
	岡田 結衣（農学部 1年）	山崎 瑠莉（農学部 1年）

8. 執行経費内訳書

配分予算額		194,473円		
執行経費(品目等)	数量	単価(円)	金額(円)	備考
除菌・消毒スプレー	3	1,155	3,465	
折りたたみコンテナ	10	2,299	22,990	
のぼり横断幕一式	1		46,830	
のぼり横断幕一式	1		55,260	
蛍光ペン6色セット	4	164	656	
折りたたみコンテナ	5	2,299	12,595	
パイプ椅子6脚入り	1		8,789	
折りたたみ作業台	2	10,439	20,878	
ボードマーカーセット	1		1,584	
色画用紙A4 20枚入	2	329	658	
ブロッキー10色セット	2	1,045	2,090	
マスキングテープ	8	164	1,312	
ボード用マーカーセット	1		2,629	
蛍光ペン6色セット	4	164	656	
合計			180,392	